

2021 年度実施概要

学校名

古平町立古平中学校

採択活動名

地域海洋科 「地域産業と海の関わりを知る～地域の現状とこれからの海洋について～」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 地域産業学習～北海道小樽水産高等学校との連携	2 学年	地域海洋科 (総合)
2. 出前授業～東しゃこたん漁業組合青年部との連携	1・2 学年	地域海洋科 (総合)
3. 漂着物調査学習～北海道博物館訪問	1 学年	地域海洋科 (総合)
4. 貝殻採集学習～ビーチコーミング	2 学年	地域海洋科 (総合)
5. 海を守る学習～海浜清掃	全学年	地域海洋科 (総合)
6. サケに関する学習～千歳水族館との連携	2 学年	地域海洋科 (総合)
7. 探究活動から海から見える未来社会	3 学年	地域海洋科 (総合)

取り組みの概要

海洋教育では、海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能にする知識や技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を図ることが求められている。

そこで本校では一昨年度より、「海洋教育パイオニアスクールプログラム」実践校として、海洋に関わる様々な学習をカリキュラムに取り入れ、「地域海洋科」を新設している。

地域海洋科では、3 年計画で「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の取り組みを進めていくが、3 年目にあたる今年度は昨年度の次の①～④の内容を基盤に課題を設定し、『持続可能な社会の実現を目指すための見方や考え方を身に付けさせる』ことを意識しながら取り組んだ

- ①つながりある海洋教育の基本計画の策定
- ②関係機関との連携及び地域教材化
- ③思考を広げる海洋教育の単元構成
- ④主体的な学びの実現

具体的な取組として、これまで取り組んでいる地域産業学習を元に、海と結びつけて学習させること、海浜清掃や漂着物調査を通じて、多面的多角的に考えさせることを学習の柱として考えた。そのために、各外部機関と連携し、生徒に実体験を通じた学習スタンスを心がけた。また、既存の教科等の内容をより深めるため、クロスカリキュラムの視点から、社会科・理科を中心に単元構成を踏まえて、海洋教育に関連を図った授業づくりを行い、思考をより深化させるための教科等の横断的な学習等の実践に取り組んだ。

これらの活動を通して、「学び方を学ぶ」ための海洋教育を心がけ、地域から広い視野で物事を考え、現代社会の諸問題に向き合い、解決方法を探りながら、持続可能な社会の実現を目指す生徒の育成や『海のまち古平』を愛し、将来を切り拓く人材の資質・能力の伸長を図っていきたいと考える。

活動中の写真



小樽水産高校実習場見学及び実習船乗船 2 年生（令和 3 年 8 月 3 0 日）



漂着物調査学習～北海道博物館訪問 1 年生（令和 3 年 1 0 月 8 日）



探究活動から海から見える未来社会～学年発表会 3年生（令和3年12月20日）



海を守る学習～海浜清掃 全学年（令和3年7月15日）